

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

大学と連携した“都市と農村の再生”プラン

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

山口市

### 3 地域再生計画の区域

山口市の全域

### 4 地域再生計画の目標

山口市は、平成17年10月1日、1市4町の合併により誕生した人口約19万2千人、面積約730km<sup>2</sup>の山口県の中央に位置する県庁所在地であり、多様な都市機能が集積しながら豊かな自然に満ち溢れるなど、都市と田舎が程よく調和する顔を持つ都市である。

また、国宝瑠璃光寺五重塔に代表される大内氏時代や明治維新関連の歴史や文化資源、山陽路随一の名湯として名高い湯田温泉を有するなど、観光地としての魅力を備えた都市でもある。

しかしながら、近年、中心市街地を始めとする都市部においては、周辺部への大型店の相次ぐ出店、住宅地の造成等により、購買客の流出や定住人口の減少などが進み、活力や吸引力が低下してきている状況にある。また、本市北東部を中心とする中山間地域においても、全国レベルを上回るペースでの少子高齢化の進展と人口、産業の流出により、地域の活力低下はもとより、地域コミュニティの崩壊をも懸念されている状況にある。

こうした中、本市は、現在「山口市総合計画」を策定中であり、この中で、今後、「住民自治」「協働」をキーワードに、地域ごとの特性を生かした多様性のある個性豊かな地域づくりを進めることとしている。

また、本市は、4つの大学を有していることもあり、産学官民の連携によるまちづくりを積極的に進めており、これまでに、山口大学、山口県立大学

と包括連携協定を締結し、大学の知を生かしたまちづくりにも取り組んでいるところでもある。

本計画は、こうした状況を踏まえ、山口県立大学との連携をより強化し、都市と農村の再生を図るものである。これまで本市北東部を中心とする地域において展開していた地域共生型の取り組みを、中心市街地をはじめとする市内全域に拡大し、地域との融合による地域コミュニティの形成や人材育成を目指す。さらに、大学を介した都市と農村の交流促進や地域課題の解決、地域資源の発掘及び産業の振興等、人づくり・地域づくりを通じた総合的な地域再生を目指すものである。

#### 【目標】

1 地域づくり達人塾への地域住民の参加者数を80人とする。

(注)「地域づくり達人塾」：地域住民、地域外住民、若者などが結集し、今後の地域づくりを協議検討するとともに、具体的な地域づくり事業を実施し、地域の活性化や自立を図るための、住民の運営による組織

2 本計画による取組を通して地域への愛着を持ち、大学卒業後も、その地域への定住や交流を通じ地域活動に参加したりするなど、様々な形でその地域の「地域づくり」に主体的に関わっていく学生数を10人以上とする。

#### 5 目標を達成するために行う事業

##### 5 - 1 全体の概要

地域づくりの拠点機能を発揮できるサテライト施設の設置・活用や、地域共生型授業の実施への支援を行い、大学と地域の交流の促進による地域活力の向上を目指す。

また、地域づくり達人塾を支援するとともに、都市部と農村部の新たな交流を進め、地域課題の解決や地域の産業振興、人材や地域資源の発掘・育成を進める。

##### (1) 都市部での取組

- ・空き家を活用している山口県立大学サテライト研究室を、地域づくりのための拠点として利活用する取組を支援する。
- ・学生と地域住民の交流促進による地域活力の向上のため、地域共生型授業の展開や受け入れに対する取組を支援する。
- ・都市部において開設を目指している「地域づくり達人塾」事業に向け、住民自治への理解や協力を求めながら、地域と大学との調整を行う。

#### (2) 農村部での取組

- ・山口県立大学サテライトキャンパス活用のため、引き続き廃校を再生した施設を提供し、必要な維持管理を行う。
- ・学生と地域住民の交流促進による地域活力の向上のため、地域共生型授業の展開や受け入れに対する取組を支援する。
- ・「地域づくり達人塾」事業を継続し、地域課題の解決に向けた取組を支援する。

#### (3) 都市部と農村部の交流促進

- ・他地域の住民との交流による地域活力の向上のため、それぞれのサテライト施設を利用した、「地域づくり達人塾」同士の交流に向けた取組を進める。
- ・地域等の活力向上のために、地域を越えた連携協力による、地域資源の活用や地域課題解決への取組を進める。

### 5 - 2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

### 5 - 3 その他の事業

#### 5 - 3 - 1 支援措置を活用して行う事業

【B0802】現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代G P)(文部科学省)

#### 【取組名称】

やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開

#### 【申請学校名】

山口県立大学

## 【概要】

これまで、山口県立大学は、「地域づくり達人塾」方式と銘打ち、旧徳地町地域において住民主体のワークショップやフィールドワークに、学生たちを送り出す多世代交流・地域共生授業を展開してきた。

本取組は、この事業を旧徳地町のみならず本市全域に拡大展開していき、それぞれの地域における独自の「地域づくり」を進めていくとともに、地域づくりを進めていく都市部と農村部の交流の充実を図るものである。

具体的には、以下のような取り組みを行う予定としている。

- (1) 大学及び大学院における教育科目として、「地域共生科目群」を設定し、学外の地域で地域住民と交流しながら授業を実施していき、社会人としての意識を持った、実践能力のある学生を育成するとともに、地域を愛する心を育成する。
- (2) 学生が実際に住民の一人として地域課題の解決に向けた取組に参加する「地域づくり達人塾」を実施し、地域住民として地域を愛する意識と、社会への適応力を持った学生を育成するとともに、大学が研究していくべき新たな地域課題の発掘を行う。

## 【本市と山口県立大学との連携方法】

本市が合併する以前より、旧徳地町と山口県立大学の間において、地域の活性化や自立を図る取組を推進するために、連携協力に関する協定を締結していた。

合併から現在まで、当該協定を新市において引き継いでおり、協定に基づく取組を継続実施しているところであるが、現状は徳地地域限定の取組となっている。

本市と山口県立大学は、今後全市的な連携協力を展開していくという意向で一致しており、今年度中に新たな連携協力協定を締結することとしている。

## 【将来構想】

本計画の計画期間は平成21年度までとしているが、本市は、これからのまちづくりにおいて、大学との連携協力は必要不可欠なものであると考えていることから、計画期間終了後も、山口県立大学との連携協力を継続していくこととしている。

また、本市は、市内高等教育機関との連携協力を進めた「アカデミー機構（仮称）」の設立を目指すこととしている。

本機構は、地域、大学、行政が一体となって地域づくりを行うために必要な、地域課題の解決に向けた実働機能や地域住民の交流の場となるサロン機能、さらには地域づくりのためのシンクタンク機能を備えたものであり、今回の地域再生計画による取組は、このアカデミー機構の整備に向けた意義ある取組として捉え、学園都市づくりを通じた、多様な主体からなる住民自治のまちづくりの推進につなげたいと考えている。

### 5 - 3 - 2 支援措置以外の施策

#### 都市核・地域核づくり

高次都市機能等が集積し、都市拠点の中心となるエリアを「都市核」、また、住民の生活拠点となるエリアを「地域核」と位置付け、都市核においては広域的な交流と都市活力創造の拠点として、地域核においては地域の生活や文化の創造拠点として、それぞれの特性を生かした個性豊かな地域づくりを進める。

#### 中山間地域の活性化

「山口県中山間づくりビジョン」に基づいて、持続可能な新たな地域コミュニティの形成と、地域独自の産業振興を目指した、中山間地域づくり指針を策定する。

また、UJIターン促進事業として、地域の商工会議所や宅建協会等、関係団体との連携により、多様な視点から促進施策を検討する「山口市UJIターン連絡協議会」の設置や、UJIターン促進のための広報戦略、具体的事業を検討する、行政内部の若手有志で組織されたワーキンググループによる活動を実施している。

#### 地域資源の複合的な活用

都市と農村の交流を促進し、地域の活性化を図るために、都市部にある温泉資源と農村部の森林セラピー基地を融合させた、観光交流プロジェクトである「山口の魅力満喫プロジェクト」を実施し、地域間交流や地域外からの

交流人口の増加を目指す。

6 計画期間

平成19年度から平成21年度末

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4に示す目標について、最終年度に本市及び山口県立大学がその達成度について調査を行い、その事業効果を踏まえた上で、その後の事業の方向性について検討を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし